


















業種別景況予測

平成24年4月～6月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	1～3月 (実績)	4～6月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「今後どうなるか予測不可能」「震災の特需毛布での仕事はあるが、今年いっぱいと予測している。来年からは不透明である」。総じて、仕入単価、加工単価の上昇にて収益が圧迫されている様子である。			
繊維 ファッション			「昨年の東日本大震災より引続き悪化状態が続く」「石油関連資材の価格高騰でますます収益が悪化しそうで不安」との声がある一方で、「全般的には大変厳しいが、その中に光は必ずある。特化した付加価値で、消費者志向重視」との見方あり。又、最低賃金について、大阪全体・業種ではなく、業務の種類で細かく分けてほしいとの要望あり。			
工業			「親会社の海外進出(製造)が多くなり、国内の空洞化が加速しているように思われる。しかし、復興需要が見込まれる」「リーマンショック後の不景気からようやく上向いたようだが、まだまだ予断は許さない状況」との声が寄せられた。			
建設			建築業からは、「仕事量はありますが、手間賃がよくないので業況はよくない」「下請けの業者や材料屋さんが、会社を閉めていく中で、仕入れの選択肢が減り、高くつく」「大阪南部の動きは総じて鈍かったが、徐々に大阪全体の動きが悪くなっているように思う」「夏ごろには建設会社の倒産が危惧されている」との声が寄せられた。			
運輸倉庫			「得意先工場の生産減のため、配送減少」「荷動きは極めて緩慢なため、商品は滞留状態の模様」「原油価格高騰の見込みなど、先行き不透明」「貨物の減少、運賃水準の下落に追い打ちをかけるように、燃料高騰が続く。運送業者は減少傾向にある」との声が寄せられた。			
金融理財			「中小企業者の数が減少しているように思う」「売掛金回収に苦慮している。平時に比べ支払時期が遅れがち」「賃貸物件について、賃貸料(地代)等の値下げ交渉が増えている」「入退きの動きが昨年と比べて減少している」との声が寄せられた。			
一般商業			「電子楽器の割合が増えてきているので、アコースティックな楽器の販売・メンテナンスが随分前から減少している」「原油高のため、燃料不足で、花の育成が悪い。出荷量が減少。特に菊の価格が異常に高い」また、中古車販売業からは「ミャンマー向けが元気。イギリス(UK)などヨーロッパも上昇中」との声が寄せられた。			
サービス業			「景気は一向によくならず、低迷のまま。起死回生の方法を模索中」「最悪な状況に変わらない」「介護保険法改正と介護報酬改定があり、より一層厳しくなっていくのではないかと先行きがとても不安。介護業界に救いの手を」「営業継続が不可能な状態。原油上昇、業界縮小等、最悪な状況」「アカン」との声が寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 平成24年4月 ●調査対象企業 255社 ●回答数 113社

寝装リビング 18社 工業 13社 運輸倉庫 13社 一般商業 13社
繊維ファッション17社 建設 14社 金融理財 12社 サービス商業 13社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向をまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援部 TEL 0725-23-1111